



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月7日

上場会社名 スターツ出版株式会社
 コード番号 7849 URL <https://starts-pub.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊地 修一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 金子 弘

TEL 03-6202-0311

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,845	19.5	109		27		66	
2019年12月期第2四半期	2,291	6.0	210	2.0	294	8.0	203	12.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	34.53	
2019年12月期第2四半期	106.15	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	5,187	4,484	86.4	2,335.76
2019年12月期	5,686	4,708	82.8	2,452.48

(参考)自己資本 2020年12月期第2四半期 4,484百万円 2019年12月期 4,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		35.00	35.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期(予想)の期末配当金につきましては、未定とさせていただきます、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期2Q	1,920,000 株	2019年12月期	1,920,000 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2020年12月期2Q	147 株	2019年12月期	147 株
-------------	-------	-----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期2Q	1,919,853 株	2019年12月期2Q	1,919,853 株
-------------	-------------	-------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項はP. 3'1. 当四半期決算に関する定性的情報の(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明、をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界規模の感染拡大の影響により、急速かつ大幅に悪化しており極めて厳しい状況となりました。また、緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルス感染症の収束の見通しがたっておらず、景気の先行きは厳しく不透明な状況が続くと思われま

す。このような環境の中で、当社は「感動プロデュース企業へ」という経営ビジョンのもと、既存の出版社の枠にとらわれず「メッセージやストーリーの詰まったコンテンツとサービスで、新たな時間の使い方や、ライフスタイルを提案し、感動の輪を広げる」ことを目的とし、紙・電子出版による雑誌、書籍、コミックの発行、女性向けWEBサイト「オズモール」、ケータイ小説投稿サイト「野いちご」等のWEBサイトの運営、オリジナルイベントの開催とそれらを掛け合わせたソリューションビジネスを軸として事業を運営してまいりました。

当第2四半期累計期間は「オズのプレミアム予約」におけるSEO等の集客対策の強化、SNSコミュニティ「東京女子部」による情報拡散を掛け合わせたPR・販促ソリューションの提供、小説投稿サイトにおけるUX向上等による新規ユーザー獲得、新たなターゲット層に向けた小説ジャンルの開発、電子コミックレーベル「noicomi」

「Berry's Fantasy」の作品数の増加等に注力してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、施設予約サービス「オズのプレミアム予約」では、政府の緊急事態宣言の発令による外出自粛要請や飲食店等の掲載施設の休業、営業時間短縮により、利用者数が大きく減少いたしました。また、雑誌及びWEB広告の掲載、イベントの中止又は延期が多く発生いたしました。

このような営業活動の結果、当第2四半期累計期間の売上高は18億45百万円（前年同期比19.5%減）、営業損失は1億9百万円（前年同期は、営業利益2億10百万円）、経常損失は27百万円（前年同期は、経常利益2億94百万円）、四半期純損失は66百万円（前年同期は、四半期純利益2億3百万円）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<東京マーケティングドメイン>

東京マーケティングドメインにおきましては、東京圏で、オリジナルのマーケティング・モデルを創造するという戦略のもと、「厳選店舗マーケティング」と「体験価値マーケティング」を軸に事業を展開してまいりました。

「厳選店舗マーケティング」は、「オズモール」（会員数：340万人）の成功報酬型の送客サービス「オズのプレミアム予約」を中心に展開し、独自基準で厳選したビューティサロン、ホテル、レストラン等約5,300施設の利用予約サービスを提供しております。当第2四半期累計期間は、掲載施設の拡充やSEO対策等の施策を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛要請及び掲載施設の休業、営業時間短縮により、前年同期と比較して送客手数料売上が大きく減少いたしました。

「体験価値マーケティング」では、「オズモール」や女性向けライフスタイル誌「オズマガジン」、フリーマガジン「メトロミニッツ」等のメディアを展開しております。当第2四半期累計期間は、SNSコミュニティ「東京女子部」と連動したPR・販促ソリューション提案等に注力して参りましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、雑誌及びWEB広告の掲載、イベントの中止又は延期、雑誌の発行見合わせ等が発生したことにより、前年同期と比較して売上高が減少いたしました。

このような営業活動の結果、東京マーケティングドメインの売上高は9億54百万円（前年同期比36.9%減）、営業損失は3億26百万円（前年同期は、42百万円の営業利益）となりました。

<投稿コンテンツドメイン>

投稿コンテンツドメインにおきましては、「野いちご」（会員数：89万人）をはじめとするターゲット別小説投稿サイトの運営と小説投稿サイトの人気作品を中心とした書籍及びコミックの発行を継続的に行っております。

当第2四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う書店の休業等の影響を受けて、紙の書籍の売上が減少したものの、大人向け恋愛小説レーベル「ベリーズ文庫」を原作とした電子コミック「ベリーズコミックス」の売上が堅調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。新たな取組みといたしましては、6月に、架空の世界を舞台にした異世界ファンタジー小説の単行本レーベル「ベリーズファンタジー」を創刊いたしました。

このような営業活動の結果、投稿コンテンツドメインの売上高は8億90百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は2億64百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期累計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて4億99百万円減少し、51億87百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が2億68百万円、未収入金が54百万円増加した一方で、売掛金が7億44百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べて3億55百万円減少し、42億3百万円となりました。

固定資産は、前事業年度末と比べて1億44百万円減少し、9億83百万円となりました。

(負債)

当第2四半期累計期間末の負債は、前事業年度末と比べて2億75百万円減少し、7億2百万円となりました。流動負債は、未払法人税等が1億円、買掛金が47百万円減少したこと等により、前事業年度末と比べて2億50百万円減少し、5億52百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末と比べて25百万円減少し、1億50百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期累計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて2億24百万円減少し、44億84百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ2億68百万円増加し、15億72百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払1億27百万円、仕入債務の減少47百万円、返品債権特別勘定の減少35百万円等による資金の使用の一方で、売上債権の減少7億44百万円等の資金の獲得により、3億82百万円の資金を獲得(前年同四半期は4億35百万円の資金を獲得)いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、オフィスの改装等による有形固定資産の取得16百万円、「オズモール」のシステム開発等の無形固定資産の取得30百万円により、46百万円の資金を使用(前年同四半期は37百万円の資金を使用)いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、67百万円の資金を使用(前年同四半期は67百万円の資金を使用)いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表したとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せないなか、現時点では業績予想の合理的な見積もりが困難であるため、2020年12月期の通期業績予想を「未定」とさせていただきます。

今後、業績予想の合理的な見積もりが可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,304,240	1,572,639
売掛金	1,683,769	939,004
製品	46,062	50,119
仕掛品	87,238	105,417
前払費用	22,570	31,285
未収入金	-	54,123
関係会社預け金	1,500,000	1,500,000
その他	641	798
返品債権特別勘定	△83,801	△48,573
貸倒引当金	△1,786	△1,101
流動資産合計	4,558,934	4,203,713
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	3,857	19,720
工具、器具及び備品(純額)	10,885	11,640
有形固定資産合計	14,742	31,360
無形固定資産		
商標権	1,138	1,245
ソフトウェア	290,896	255,799
ソフトウェア仮勘定	2,704	8,456
電話加入権	2,376	2,376
無形固定資産合計	297,114	267,877
投資その他の資産		
親会社株式	603,231	478,252
投資有価証券	86,046	80,418
差入保証金	96,995	96,995
その他	29,603	28,632
投資その他の資産合計	815,876	684,300
固定資産合計	1,127,733	983,538
資産合計	5,686,668	5,187,252

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	273,342	225,614
未払金	34,442	21,268
未払費用	29,667	30,376
未払法人税等	110,738	9,961
未払事業所税	4,250	2,120
未払消費税等	41,530	-
前受金	21,859	7,065
預り金	36,060	41,005
賞与引当金	32,000	24,500
返品調整引当金	211,470	184,496
ポイント引当金	6,803	5,723
流動負債合計	802,165	552,133
固定負債		
役員退職慰労引当金	51,000	53,600
退職給付引当金	3,051	8,310
繰延税金負債	122,048	88,897
固定負債合計	176,099	150,808
負債合計	978,265	702,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	540,875	540,875
資本剰余金	536,125	536,125
利益剰余金	3,199,974	3,066,492
自己株式	△350	△350
株主資本合計	4,276,624	4,143,142
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	431,779	341,168
評価・換算差額等合計	431,779	341,168
純資産合計	4,708,403	4,484,311
負債純資産合計	5,686,668	5,187,252

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,291,862	1,845,129
売上原価	1,312,065	1,285,945
売上総利益	979,796	559,184
返品調整引当金戻入額	245,765	211,470
返品調整引当金繰入額	221,973	184,496
差引売上総利益	1,003,588	586,158
販売費及び一般管理費	792,788	695,193
営業利益又は営業損失(△)	210,800	△109,035
営業外収益		
受取利息	2,980	3,723
受取配当金	75,443	71,891
雑収入	5,511	5,074
貸倒引当金戻入額	-	994
営業外収益合計	83,935	81,683
営業外費用		
雑損失	-	61
営業外費用合計	-	61
経常利益又は経常損失(△)	294,735	△27,412
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	294,735	△27,412
法人税、住民税及び事業税	81,597	32,030
法人税等調整額	9,344	6,844
法人税等合計	90,942	38,874
四半期純利益又は四半期純損失(△)	203,793	△66,287

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	294,735	△27,412
減価償却費	66,871	63,284
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△667	△685
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,900	2,600
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,200	△7,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	-	5,259
返品債権特別勘定の増減額 (△は減少)	2,586	△35,227
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△23,791	△26,973
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△6,776	△1,079
受取利息及び受取配当金	△78,423	△75,615
売上債権の増減額 (△は増加)	314,257	744,764
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	1,403	-
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△23,816	△22,235
その他の資産の増減額 (△は増加)	6,073	△11,838
仕入債務の増減額 (△は減少)	△48,909	△47,728
未払金の増減額 (△は減少)	△3,709	△16,211
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△34,625	△41,530
その他の負債の増減額 (△は減少)	44,880	△11,269
その他	△1,388	△5,041
小計	512,797	485,559
利息及び配当金の受取額	78,423	24,240
法人税等の支払額	△155,728	△127,765
営業活動によるキャッシュ・フロー	435,492	382,034
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,028	△16,409
無形固定資産の取得による支出	△32,085	△30,851
その他の収入	-	900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,113	△46,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△67,075	△67,275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,075	△67,275
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	331,303	268,398
現金及び現金同等物の期首残高	1,253,355	1,304,240
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,584,659	1,572,639

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社は施設予約サービス利用者の減少、広告掲載及びイベント開催の中止等の影響を受けております。

新型コロナウイルス感染症の影響については、収束時期を予測することは困難であるものの、2020年後半まで継続し、それ以降に徐々に回復が見込まれると仮定し、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損等の会計上の見積もりを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の経済活動への影響は不確実性が伴うため、実際の結果はこれらの見積りと異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額(注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン			
売上高					
外部顧客への売上高	1,513,386	778,475	2,291,862	—	2,291,862
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,513,386	778,475	2,291,862	—	2,291,862
セグメント利益 又は損失(△)	42,369	219,531	261,900	△51,100	210,800

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△51,100千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額(注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン			
売上高					
外部顧客への売上高	954,395	890,734	1,845,129	—	1,845,129
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	954,395	890,734	1,845,129	—	1,845,129
セグメント利益 又は損失(△)	△326,073	264,859	△61,213	△47,822	△109,035

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△47,822千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。